

# 2022年度 第3四半期決算

2023年1月26日

富士電機株式会社

1.	2022年度 第3四半期決算(対前年)	P.	3
2.	貸借対照表	P.	12
3.	2022年度 業績予想	P.	14
4.	補足資料	P.	16

# 1. 2022年度 第3四半期決算 (対前年)

# 第3四半期累計 連結業績概要 (対前年)

売上高、営業損益、経常損益、純損益は過去最高を更新

(単位:億円)

	2021年度	2022年度	増減
売上高	6,200	6,908	708
営業損益 (営業利益率)	327 (5.3%)	424 (6.1%)	98 (0.9%)
経常損益	341	413	71
特別損益	72	83	11
税金等調整前 四半期純損益	414	496	82
法人税等	127	164	36
非支配株主に帰属する 四半期純損益	32	43	10
親会社株主に帰属する 四半期純損益	254	290	36

(期末レート:12月末)

(単位:円)

US\$	115.02	132.70	+17.68
EURO	130.51	141.47	+10.96
RMB	18.06	19.01	+0.95

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	111.10	136.51	+25.41
EURO	130.62	140.59	+9.97
RMB	17.25	19.88	+2.63

## 売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	+154
需要増	+554

## 営業損益増減

物量・生産増	+246
固定費増	-159
為替影響	+42
その他*	-32
	+98

\*コストダウン、価格変動、機種構成差等

## 営業外損益増減

金融収支	+3	( 12 → 15 )
為替差損益	-12	( 4 → -8 )
その他	-17	( -1 → -18 )
	-26	( 15 → -12 )

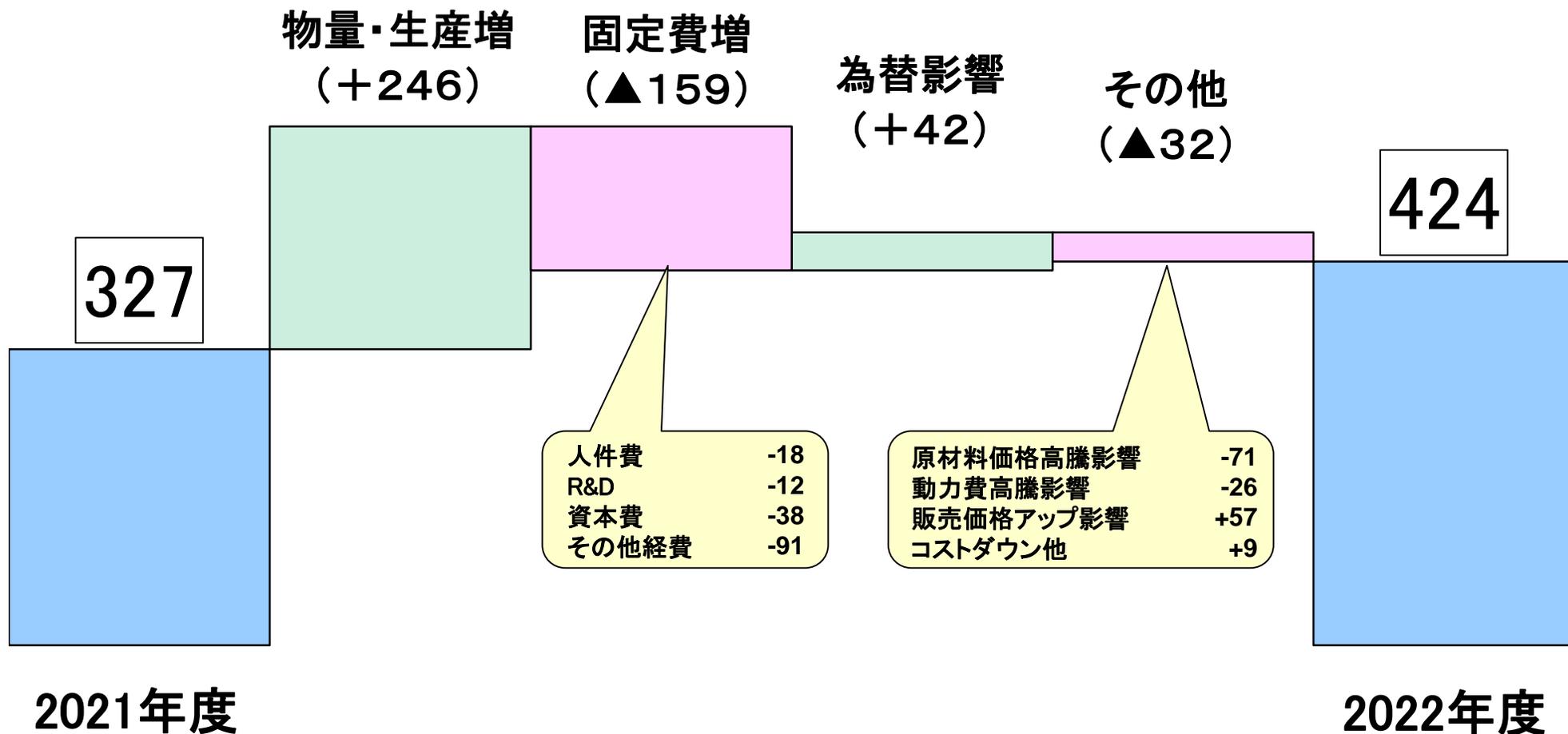
## 特別損益増減

投資有価証券売却損益	+4	( 85 → 89 )
事業撤退損(ディスク媒体)	+4	( -4 → 0 )
その他	+3	( -8 → -5 )
	+11	( 72 → 83 )

# 第3四半期累計 営業損益増減分析 (対前年)

原材料価格や動力費の高騰、固定費増があるものの  
物量増・生産増および為替影響等により増益

(単位: 億円)



**売上高は全セグメントで増収**  
**営業損益はパワエレ インダストリーが生産減影響等で減益**

(単位: 億円)

	2021年度			2022年度			増減		
	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率	売上高	営業損益	営業利益率
パワエレ エネルギー	1,555	93	6.0%	1,802	153	8.5%	246	60	2.5%
パワエレ インダストリー	2,204	64	2.9%	2,331	38	1.6%	128	-25	-1.3%
半導体	1,294	192	14.8%	1,469	225	15.3%	174	33	0.5%
発電プラント	443	-11	-2.5%	557	2	0.4%	113	14	3.0%
食品流通	653	16	2.4%	684	29	4.2%	31	13	1.8%
その他	394	17	4.2%	432	25	5.7%	38	8	1.5%
消去または全社	-344	-43	-	-367	-48	-	-22	-5	-
合計	6,200	327	5.3%	6,908	424	6.1%	708	98	0.9%

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

# 第3四半期累計 セグメント別概況①(対前年)

(単位:億円)

			2021年度	2022年度	増減	概況	
パワーエレ	エネルギー	売上高	1,555	1,802	246 +57*	<b>エネルギーマネジメント 7%減収</b> 前年同期の産業向け変電機器の大口案件影響等により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。 <b>施設・電源システム 35%増収</b> 国内外のデータセンター及び半導体メーカー向け案件の需要が大幅に拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。 <b>器具 13%増収</b> 工作機械及び半導体製造装置等の国内を中心としたセットメーカーの需要が拡大し、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。	
		営業損益	93	153	60 +14*		
	インダストリー	売上高	2,204	2,331	128 +35*		<b>オートメーション 4%増収</b> 中国において新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの、為替影響等により、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業損益は低圧インバータやFAコンポーネントを中心とした、部材調達難による生産影響や素材価格の高騰等により、前年同期を下回りました。 <b>社会ソリューション 11%減収</b> 船舶向け及び鉄道車両向けの案件が減少し、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。 <b>設備工事 1%増収</b> 電気設備工事の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。一方、営業損益は資材及び機材価格の高騰等により、前年同期を下回りました。 <b>ITソリューション 19%増収</b> 文教及び民需分野の大口案件等の需要増により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。
		営業損益	64	38	-25 +1*		

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

\*為替影響

# 第3四半期累計 セグメント別概況②(対前年)

(単位:億円)

		2021年度	2022年度	増減	概況																
半導体	売上高	1,294	1,469	174 +53*	ディスク媒体事業からの撤退影響があったものの、電動車(xEV)向け及び産業分野向けのパワー半導体の需要拡大及び為替影響により、売上高は前年同期を上回りました。また、営業損益も、パワー半導体の生産能力増強に係る費用の増加や素材価格及び動力費の高騰影響があったものの、高操業の維持による生産及び売上の増加により、前年同期を上回りました。  売上高内訳 <table border="1" data-bbox="721 482 1336 682"> <thead> <tr> <th></th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>産業</td> <td>776</td> <td>785</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>60</td> <td>0</td> <td>-60</td> </tr> <tr> <td>電装</td> <td>519</td> <td>684</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table>		2021年度	2022年度	増減	産業	776	785	9	ディスク媒体	60	0	-60	電装	519	684	165
		2021年度	2022年度	増減																	
産業	776	785	9																		
ディスク媒体	60	0	-60																		
電装	519	684	165																		
営業損益	192	225	33 +29*																		
発電プラント	売上高	443	557	113	再生可能エネルギーの大口案件及び案件差等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。																
	営業損益	-11	2	14																	
食品流通	売上高	653	684	31	<b>自販機 14%増収</b> 中国の子会社における貸倒引当金計上による損益悪化影響があったものの、国内の需要拡大に加え、原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。  <b>店舗流通 3%減収</b> 前年同期の金銭機器の大口案件影響により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。																
	営業損益	16	29	13																	

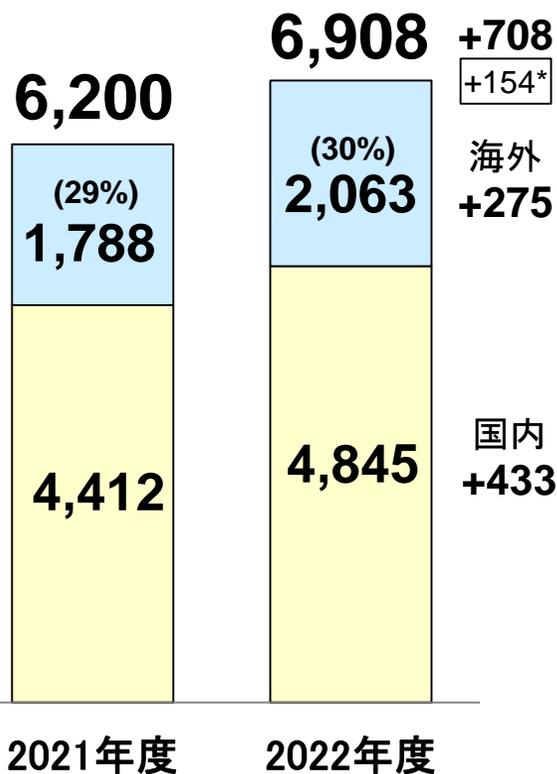
※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

\*為替影響

# 第3四半期累計 国内/海外・地域別売上高 (対前年)

アジア他、欧州、米州で増収  
パワエレ、半導体、発電プラントが伸長

(単位:億円)  
( )内は海外売上高比率



(単位:億円)

	2021年度	2022年度	増減
海外	1,788	2,063	+154* 275
アジア他	809	1,022	+75* 213
中国	725	646	+40* -79
欧州	137	218	+17* 81
米州	116	177	+21* 60

\*為替影響

施設・電源システム +96  
器具 +15  
オートメーション +62  
半導体 -12  
(内、ディスク媒体 -60)  
発電プラント +57

器具 -15  
オートメーション -52  
食品流通 -10

オートメーション +10  
半導体 +65

エネルギーマネジメント +8  
器具 +7  
オートメーション +16  
社会ソリューション +8  
発電プラント +12

# 第3四半期累計 製品群別 受注高 (対前年)

パワエレのプラント・システム案件は大幅受注増  
コンポーネントの受注は対2Qで減少

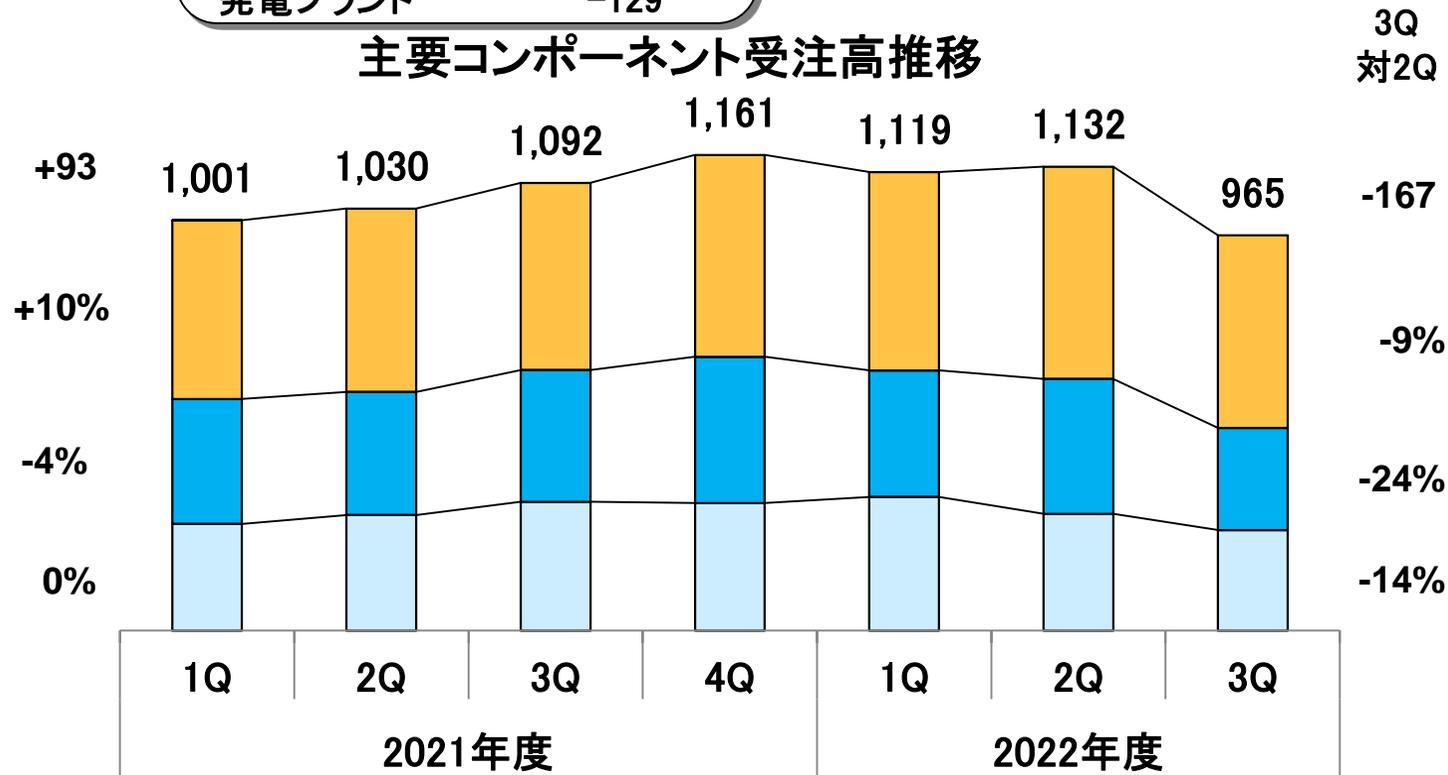
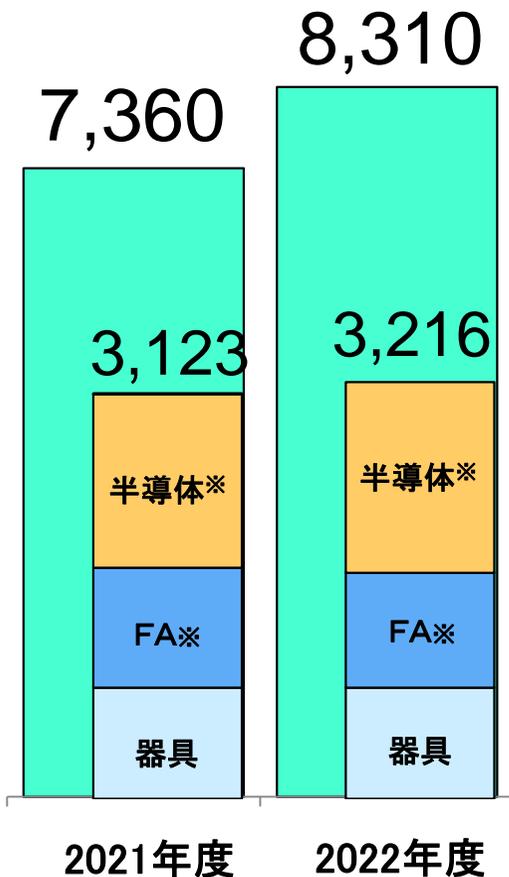
(単位: 億円)

対前年  
+951

＜プラント・システム案件の増減＞

施設・電源システム	+442
エネルギーマネジメント	+229
設備工事	+149
ITソリューション	+53
発電プラント	-129

## 主要コンポーネント受注高推移



※半導体: 産業(ディスク媒体除く)、電装  
 ※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器  
 ※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映しています。

# 第3四半期累計 製品群別 売上高 (対前年)

主要コンポーネント売上高は、受注残により高水準を維持  
プラント・システム案件の売上高は好調継続

(単位: 億円)

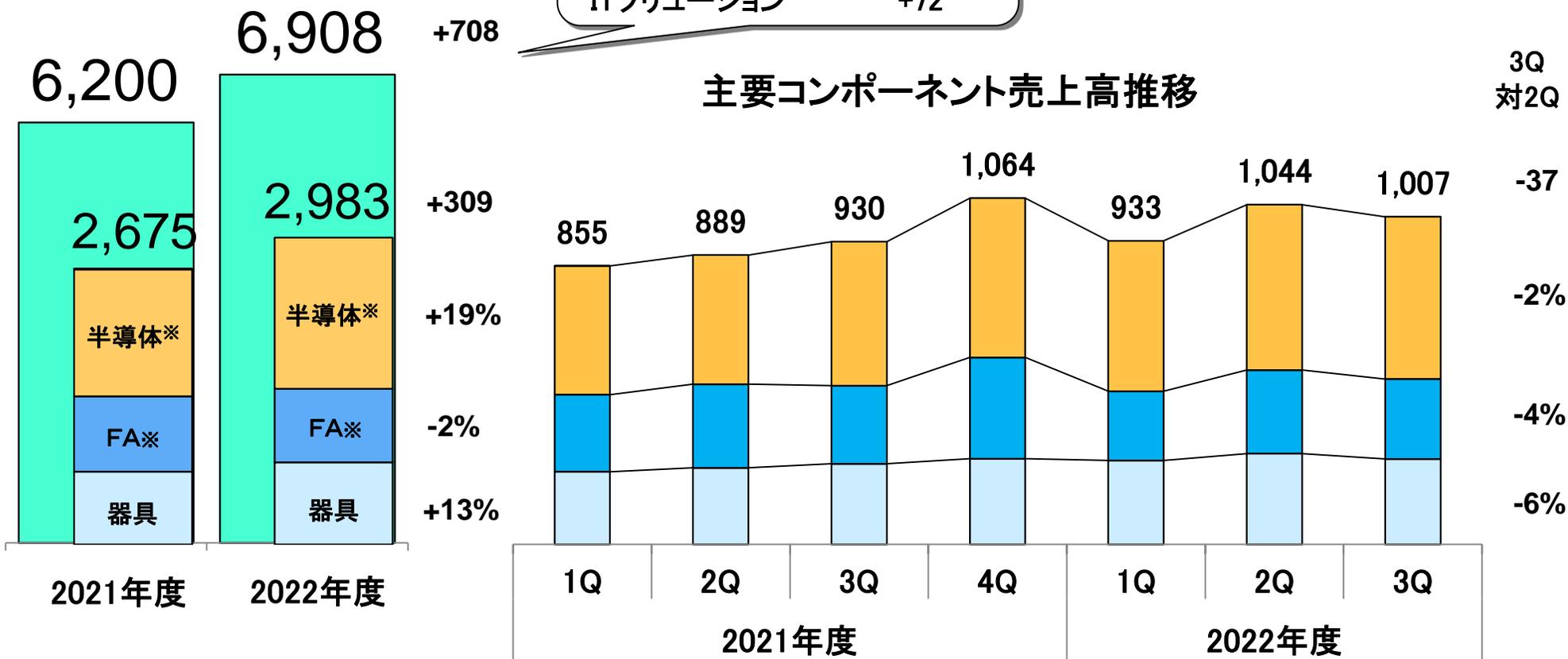
対前年

<プラント・システム案件の増減>

施設・電源システム	+177
発電プラント	+113
ITソリューション	+72

+708

主要コンポーネント売上高推移



※半導体: 産業(ディスク媒体除く)、電装  
 ※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器  
 ※2021年度実績は、2022年度の事業組替を反映しています。

## 2. 貸借対照表

# 第3四半期末 連結貸借対照表 (対前年度末)

(単位:億円)

資産の部	22/3/31	22/12/31	増減
現金及び預金	930	971	41
売上債権	3,573	3,289	-285
棚卸資産	1,703	2,102	399
その他	614	622	9
流動資産 計	6,820	6,984	165
有形固定資産	2,337	2,667	330
無形固定資産	225	233	8
投資その他の資産	1,789	1,607	-182
固定資産 計	4,351	4,507	156
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	11,171	11,492	321
ネット有利子負債※1	1,170	1,083	-88
ネットD/Eレシオ※2	0.2倍	0.2倍	-0.0倍
自己資本比率	42.3%	42.1%	-0.3%

負債、純資産の部	22/3/31	22/12/31	増減
買入債務	1,717	1,881	163
有利子負債	2,084	2,049	-35
その他負債	2,132	2,210	78
負債 合計	5,934	6,140	206
資本金	476	476	-
資本剰余金	460	460	-0
利益剰余金	3,193	3,325	132
自己株式	-74	-74	-0
株主資本	4,055	4,187	132
その他の包括利益累計額	674	646	-29
非支配株主持分	508	520	11
純資産 合計	5,237	5,352	115
負債・純資産 合計	11,171	11,492	321

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

# 3. 2022年度 業績予想

# 通期 連結業績概要 (対前年)

## 通期業績予想は変更なし

(単位: 億円)	2021年度 実績	2022年度 1/26予想	増減
売上高	9,102	9,850	748
営業損益 (営業利益率)	748 (8.2%)	870 (8.8%)	122 (0.6%)
経常損益	793	880	87
親会社株主に帰属する 当期純損益	587	595	8

4Qの前提為替レート			
	US\$	EURO	RMB
為替レート	¥135.00	¥135.00	¥19.50
為替感応度 (億円)*	0.3	0.4	1.2

\*営業損益ベース  
 US\$, EUROは1円変動影響、RMBは1%変動影響

(単位: 億円)	2021年度 実績		2022年度 1/26予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレ エネルギー	2,310	212	2,520	266	210	54
パワエレ インダストリー	3,241	238	3,550	256	309	18
半導体	1,788	271	2,040	313	252	42
発電プラント	786	31	820	41	34	10
食品流通	908	30	930	42	22	12
その他	547	28	550	33	3	5
消去または全社	-478	-63	-560	-81	-82	-18
合計	9,102	748	9,850	870	748	122

※ 2021年度実績は、2022年度の事業組替の数値を反映しています。

# 4. 補足資料

# 補足資料

## ■器具受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	-14%	-22%
国内	-5%	-14%
海外	-42%	-48%

3Q累計(対前年)
0%
+5%
-13%

## ■低圧インバータ受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	-41%	-36%
国内	-34%	-31%
海外	-45%	-39%

3Q累計(対前年)
+2%
-11%
+10%

## ■半導体受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体(ディスク媒体除く)	-9%	+3%
産業(ディスク媒体除く)	-24%	-17%
電装	+9%	+30%

3Q累計(対前年)
+10%
-2%
+27%

## ■自販機受注高

	3Q(対2Q)	3Q(対前年)
全体	+6%	+20%

3Q累計(対前年)
+14%

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。